

寺報

龍正寺

日なた 190号

彼
岸
養
日
延



<令和 6年 3月>

宝龍会
護持会

往職一言(彼岸)

春のお彼岸を迎える、時期が来ました。

御先祖様の御供養を致しましょう。

彼岸とは仏様の世を現します、此岸は私達の住む世を現わします。

御先祖様の供養と共に私達も、仏道修行を試みませんか、6つの修行があります。

1日目は布施行 = 対価・お金ではなく、見返りを求めることなく、自分自身の身正めて御奉仕する事

2日目は忍辱行 = 耐えること、つねに柔和な心を持って何事にも接する事

3日目は持戒行 = 習慣、良い事を行うことを習慣つけていく事

4日目は中日 家族揃って御先祖様の供養
一日御奉仕する事

5日目は精進行 = 美しい心、純白な状態を保つ事

6日目は 禅定行 = 食事の時に音を立てない、食器を置く時、物を噛む音、静かに食べる。

7日目は 智慧行 = 知ったかぶりをしない、人に教えをあげられる心を持った人、教えてもらえる心を持った人

以上の6つの修行される事で 自分自身が安らぎが持つ事が出来ると思います。

また、御彼岸の一週間間は特に仏壇の前で御先祖様と向き合って見て下さり、何か自分自身の心に教えられる事があると思います。

合掌

南無妙法蓮華経

「金祥稲荷さま」

花咲く春が訪れて参りました!!
空気が明るい光りに包まれている様に
感じます 大宇宙大自然のおかげさま
の中で もう3月ともなりました 特急列車
のように日々が過ぎてゆきますが今日は
春よりも 今日はむしろ冷たい寒い……
雨の一日あたり この頃は又強風で被害が
出たりと 時代の移り変りの中でおとわぬ
ことばかりが起きて……色んな事柄が
変貌してゆくように思ってみます。

わたくしは時代遅れで何もわかりませんが
テレビより新聞より 人さんのお話しの中よりお
聞き致してそんな風に思ってみます
昔ながらの伝統とか慣わしがくずれて

行っているそうです...

あの事とこの事も簡単にすましてゆくようなこの頃だそうです。新年よりです「冠婚葬祭を重んじよ」とのってました

そして又葬儀も家族葬とがてきているこの頃よりですその家族葬に肉題ありとのってました!! 近所でもよく話しますそう式も

今は簡単になつて楽ね 似前は通夜も葬儀も2はかかっていたやえ...とおっしゃる方が増えているようです 誰しも簡単がいいようですが重んじよと教えられる 生きていられた人生の

最も簡単に終えてはさびしさを覚えます 又自命と同じようにさびしさをその時味かうことになるとお正人さんより学びました!!

大変に哀しい今年の幕明けでございましてが言葉ならずの切なうかなしいむなしさがむしむしと

任ねて参りますか 仰ぐにゆゑすで 寒い雪の中で
思われていることと存じます…

被害に遭われた方々の切ないお言葉が
新聞にのっていました

寒真只中で雪が降り積もつてます 能登の人は
みんな やさしくて強い土までやさしい…

あの雪道に大粒の涙が流れおちる!!
届けられぬ 年賀状と山ほじ有る…

今年の成人式にVサインの写真はありません

何はかぶりに入れたお風呂の中でとめどなく流れる

涙 湯舟におちる涙

いつもの道が通れせん いつもの向いの景色が
見せん 雨から雪に変わる冷たくて寒い…

どうかこの被災地を白く染めないで下さいと祈った
が雪は降り積る 寒いですと新聞の半ページは

の元をた... 能登の方々のつらくて喜んで
どうすることも出さずのお気持ちです。されるほど
思ってみます時... 今何ともなくの良き日の
一はに幸いの合掌を思っています。

人の身に止むことを得ずして学ぶ生活の中で
次の3つは絶対に欠かせないことを学びました。
人の身としてやめようもやめられずの大切で大事な

3つの事は... 1. 食事 } 衣食住
2. 着る }
3. 住居 }

この3つに病む者はくすりも加える
この4つが日々欠けざるにせよとのことの
様です。金神社さんの金祥翁翁さんは衣食住
をお守り下さっていたので
毎月8日が月参りか行なわれます。ご縁を
いただいて参拝とさせて頂いておきますこの思いを
心に止めての参拝でございます。

食事の前には必ず 妙法の合掌で
いただきます 勿体なくのことばかりの
日常生活を思ってみます

かなしい時も
うれしい時も
たのしい時も
不安な時も
満気の時も
心乱しのおそれ

喜怒哀楽に
法々經の事に真言の
ありがたさを思います

今日の一日のくらしの
心を大事に思ひ
心しての合掌を大切に思ってみます

南無妙法蓮華經

合掌

おっくう (億法力)

日蓮宗新聞の中に言葉のえにしのコナに
“おっくう”がありました。

おっくうについて解説されていますが... それとは別で
自分の中のおっくうを思い出していました。

更年期と自身の小性格もあいまって何かとめんどくさいと
思っ後回し、後回し、体を動かすのも体がえらくおっくう
になり、どんどん太っていき、今では太って膝が痛いほど、
階段の昇り降りも疲れてしまい、服はきつくて苦しいと
感じ、サイズをあげなくてははいけない始末。

太っていい事は何一つありません。

自転車に乗って少しでも運動不足を解消しようとするも
週1回がやっと... フォールも行くまでに気が乗らず最近
は遠いています。

ただ、生きていくには動かなくてははいけません。
面倒くさいと動かかたないでいたら体はどんどん動かかなく
サゼンついていきます。

関節も正直に年齢からくるおとろえサビつきを自覚
させられます。

ある方から「関節が痛くて病院へ行っただけで加齢
で片付けられてしまう。結局のところ、動かさなければいけません」

と言っておいて、やはり動くことをサボらないのが一番なのか
と思いました。

自分の体は自分でしか守れません。誰にも助けられません。
お医者さんも万能ではなく症状に対しての治療とやるので、
やはり自分の体を知り、つきあう。

この先の長い人生 あっくう(億兆カ)に任らずに、1日・
1日を大切にしていけることを心がけていく。

自分に今できることを少しずつ増やす感じで過ぎしてい
ます。

— 伝える大切さ —

寒暖差があり体調崩しやすい上に、花粉も飛び始めましたが、皆様お変わりありませんか？ またまた寒い日が続くようですので温かくしてお過ごし下さい！！

先日、私が家に帰ると、息子から「お母さん、いつもありがとう」と急に言われ、少し驚きました。

誕生日でも、母の日でも、勤労感謝の日でもありませんので、「どうしてなの？」と思わず言ってしまうことに。

その日はとある会社の社長さんから講演を聞いたことと、生徒からの質問で、「自分の命は自分のものなので、どう使ってもいいですよね？」と語ったことに対して、社長の答えが心に刺さる前から、伝えるという理由でした。

自分の命はお父さん、お母さんがいて与えられたもので、お父さん、お母さんのどちらかがいない状態では産まれてこれない。また、お父さんも、その上のお父さん、お母さんがいて産まれてこられた。このうちの誰か一人でもいなければ自分は産まれてこなかった。だから、自分の命は自分だけのものではない。みんなに守られて与えられ

そのものごから、大切にしていまひい。

という内容だったにそうです。学校で、このように講演を聞く機会があった事は、とても良かったに思いました。先祖様に手を合わせることの大切さも、感じてくれているようにでした。

普段の生活では、取っかかすもあり、このように気持ちを伝えることは少ないと思ひますが、震災や事故などで急に家族を失った方の中には、感謝を伝えられなかった事に後悔されている方も少なくないようにです。

家族の中で、感謝の言葉が沢山伝え合えるようにしたいにいいですね♡

勿論、父親が帰宅した際も、「お父さん、いつもありがとう」と声を掛けていました。

「産まれてきてくれて、ありがとう」と伝えることもできました。

心とつ

60歳を過ぎた頃から、元気に明るく過ごしていると気持ちにはありますが、裏腹に目のかすみ、体力の衰えを感じ、「あーこれが老化現象か!!」と痛感。これからは、あれこれと出来なくなっていく事柄に不安を感じ受けとめて行くのかと思っていました。

日蓮宗新聞の法華経・ご遺文シリーズ「尼ガエルのおはなし」に書かれていた。「思い通りにならないこと」という意味を持つ「苦」を説く。そこからとりとめのない「苦しみ」を生むか生まないかは自分の心とつ「苦にまどわさぬ」ありのままを受け入れる...とありました。受けとめるのではなく受け入れる事で出来なくなった事柄も数えるのではなく、出来る事を1つ1つを丁寧に向き合っていきたい。苦しみを生むか生まないかは自分の心とつとありました。繰り返し読むほど気づきがあり、今の自分自身の「苦」と「楽」を考える時間を頂きました。

1日1日を大切に、苦しみを生むのではなく、楽を生

み出さ力を身につけていきたいと思います。

年老いて行くこの体を受け入れながら、日々の感謝を忘れず、御題目を唱え続けたいと思います。心はいつまでも若々しく柔軟に生きていきたいと思います。

日蓮宗新聞 を是非ご拝読下さい。

色々な学びやチャンスも頂けると思います。

< 3月行事予定 >

3月1日(金)	10時~17時	大古久尊天祈願会
3月13日(水)	10時~	宗祖日蓮大聖人報恩会 鬼子母尊神 七面大明神) 祈禱会
3月20日(水)	13時~	春季彼岸中日法要会

< 3月住職の予定 >

寺院にて法務

< 3月の予定 >

3月6日(水)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
12日(火)		
13日(水)	法要後	片付け. 準備
14日(木)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
19日(火)		